

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

苫小牧イノベーション基盤構築計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

苫小牧市

### 3 地域再生計画の区域

苫小牧市の全域

### 4 地域再生計画の目標

#### 4-1 地方創生の実現における構造的な課題

若者を苫小牧市に引き留める、もしくは就職や転職を機にU I Jターンさせるために、苫小牧市内の多様な雇用環境（起業環境を含む）の整備が求められている。市内学生を対象とした市内企業に対するイメージ調査においても、都市部の企業に比べて、「将来性」や「創造性」の観点から魅力が欠けるというような回答が見受けられており、移住・定住を目指す上では、魅力ある雇用環境の整備が喫緊の課題である。

#### 4-2 地方創生として目指す将来像

苫小牧市の市内企業と域外のベンチャー企業等がマッチングされ、事業面で連携することによって、市内企業が抱える課題（生産性向上、業務の効率化／省力化、雇用確保、遊休資産の活用、人材の育成等）を解消するとともに、他都市にはない魅力的な雇用環境やベンチャー起業の受け入れ環境を整備することで、それに伴う移住・定住の促進や起業・創業の活性化（ベンチャー企業の進出を含む）を目指す。

## 【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
地域課題の解決に向けた実証事業の件数 (年間)	3	3	0	0
イノベーションマッチングイベント参加社数(社)	34	16	10	20
本事業をきっかけとした域内創業事業・企業数(件)	0	1	2	3
管内学生の管内事業所就職割合(%)	50.32	2	3	5

	KPI増加分の累計
地域課題の解決に向けた実証事業の件数 (年間)	3
イノベーションマッチングイベント参加社数(社)	46
本事業をきっかけとした域内創業事業・企業数(件)	6
管内学生の管内事業所就職割合	10

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

地域課題を抱える市内企業と課題解決に資する域外のベンチャー企業とのマッチングを支援するとともに、市内企業及びベンチャー企業が活

用できる各種支援プログラムに係る情報提供、当該プログラムを活用したプロジェクト創出支援を行う。

## 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金（内閣府）：【A3007】

### ① 事業主体

苫小牧市

### ② 事業の名称：

苫小牧イノベーション基盤構築加速化事業

### ③ 事業の内容

加速化交付金事業において検討及び実効性の検証を行った「苫小牧イノベーション基盤構築推進協議会」の設立に向けた活動を促進させる。具体的には、域内の地域課題解決に資する域外のベンチャー企業（シーズやアイデア）とのマッチング支援及び事業化支援を加速化させるとともに、市内企業及びベンチャー企業が活用できる国や自治体の支援プログラムに係る情報提供や当該プログラムを活用したプロジェクト創出支援を行う。

### ④ 事業が先導的であると認められる理由

#### 【自立性】

域内及び域外の企業から、マッチングや共同事業に向けた協賛金や、市民や企業からの寄付を可能とするクラウドファンディング実現可否についても検討する。さらには、課題解決に応じたソーシャルインパクトボンド（SIB）の仕組みづくりも検討する。

#### 【官民協働】

初年度の立ち上げは自治体主体による推進を行うが、2年目以降は民間組織による自立した資金メカニズムを確立し、官から民への運営推進主体の移行を目指す。

#### 【政策間連携】

政策推進室のみならず、企業立地推進室や産業振興室とも連携し、移住定住促進のみならず、市内企業の認知度向上や高付加価値化、企業誘致、ベンチャー創出等、様々な領域にわたる効果創出を目指す。

### 【地域間連携】

本事業の推進状況に応じて、定住自立圏などの近隣市町村や、COC+事業の協働機関として名を連ねる自治体との連携を呼びかけ、参加企業（技術を欲する地元企業、技術提案を行いたいベンチャー企業）の集客や事業のPRなどを図る。

### 【その他の先導性】

特になし

## ⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

### 【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
地域課題の解決に向けた実証事業の件数 (年間)	3	3	0	0
イノベーションマッチングイベント参加社数(社)	34	16	10	20
本事業をきっかけとした域内創業事業・企業数(件)	0	1	2	3
管内学生の管内事業所就職割合(%)	50.32	2	3	5

	KPI増加分の累計
地域課題の解決に向けた実証事業の件数 (年間)	3
イノベーションマッチングイベント参加	46

社数（社）	
本事業をきっかけとした域内創業事業・企業数（件）	6
管内学生の管内事業所就職割合	10

## ⑥ 評価の方法、時期及び体制

### 【検証方法】

苫小牧市にて既に立ち上がっている「総合戦略推進会議」を外部組織として位置づけ、本事業の効果検証等を行う。

本事業においては、行政、域内・域外の民間企業・教育機関、金融機関から構成される「苫小牧イノベーション基盤推進協議会」を運営し、定期的に検討会を開催し、業績評価指標（K P I）の設定や評価手法、P D C Aサイクルの仕組みについて、報告・検証を行うものとするが、当該検討会に、「総合戦略推進会議」の参画メンバーを招へいし、第三者的な助言等を聴取する。

### 【外部組織の参画者】

「総合戦略推進会議」から招へいするメンバーとして以下を想定。

苫小牧市商工会議所、苫小牧公共職業安定所、地元金融機関、教育機関等

### 【検証結果の公表の方法】

検討会におけるK P IやP D C Aサイクルに係る検討・協議内容については、市のホームページに検討資料や議事録を公開するなどして透明性を確保するものとする。

## ⑦ 交付対象事業に要する経費

- ・ 第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 100,000千円

## ⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日（3ヵ年度）

⑨ その他必要な事項

特になし

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

該当なし

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

【検証方法】

苫小牧市にて既に立ち上がっている「総合戦略推進会議」を外部組織として位置づけ、本事業の効果検証等を行う。

本事業においては、行政、域内・域外の民間企業・教育機関、金融機関から構成される「苫小牧イノベーション基盤推進協議会」を運営し、定期的に検討会を開催し、業績評価指標（KPI）の設定や評価手法、PDCAサイクルの仕組みについて、報告・検証を行うものとするが、当該検討会に、「総合戦略推進会議」の参画メンバーを招へいし、第三者的な助言等を聴取する。

【外部組織の参画者】

「総合戦略推進会議」から招へいするメンバーとして以下を想定。

苫小牧市商工会議所、苫小牧公共職業安定所、地元金融機関、教育機関等

7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
地域課題の解決に向けた実証事業の件数 (年間)	3	3	0	0
イノベーションマッチングイベント参加社数(社)	34	16	10	20
本事業をきっかけとした域内創業事業・企業数(件)	0	1	2	3
管内学生の管内事業所就職割合(%)	50.32	2	3	5

	KPI増加分の累計
地域課題の解決に向けた実証事業の件数 (年間)	3
イノベーションマッチングイベント参加社数(社)	46
本事業をきっかけとした域内創業事業・企業数(件)	6
管内学生の管内事業所就職割合	10

### 7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

検討会におけるKPIやPDCAサイクルに係る検討・協議内容については、市のホームページに検討資料や議事録を公開するなどして透明性を確保するものとする。